

# 川俣町立川俣幼稚園園歌

吉田ノブ 作詞

吉田真知子 作曲

一、きいろいぼうしにあおいふく

にこにこえがおでようちえん

おやねのうえのおひさまも

おててをふりふりよんでいる

たのしいかわまたようちえん

二、あおいおやねのようちえん

ぼくもわたしもせんせいも



70年の歴史ある幼稚園が休園

平成30年3月31日

## ありがとう川俣幼稚園

# 昭

和24年に開園した川俣幼稚園が休園——。菅野園長は率直な想いを語ります。



元・川俣幼稚園長 菅野 智子さん

「川俣幼稚園は、現在の場所に移転するまで何度か場所が変わったものの、いつも町の中心の幼稚園として約70年の時を刻んできた歴史ある幼稚園です。時代の流れとともに園児数とクラスが減少し、いつかは形を変える時が来るのかなと想像はしていたものの、実際に川俣幼稚園が休園と聞いた時は様々な思いがこみあげてきました。休園が決まった最後の最後の運動会。青空に花火があがった時は、胸がいつぱいになりました。

思い返せば新規採用で川俣幼稚園に配属になり、累計6年を川俣幼稚園とともに過ごしてきました。その頃出会った子どもたちが今では親になり、優しい保護者だったみなさんは、もう素敵なおじいちゃんおばあちゃんになっています。形を変えて



ひろいおにわでげんきよく

おどってあそぼううれしいな

なかよしかわまたようちえん

三、しろいくもさんふわふわと

おうたをうたっておさんほだ

なかよしこよしでぼくたちも

おててをつないでいちにっさん

わたしのかわまたようちえん

再会する度に、長年勤めてきた幸福感を感じずにはいられませんでした。

そして、川俣幼稚園がいつも地域のみなさんの愛情に包まれていたのだということ、今あらためてかみしめています。これまで川俣幼稚園をあたたかく見守り、支えてくださった全ての方に感謝の気持ちを伝えたいです。この春から新しい環境が始まる子どもたちは、大きな夢を持って未知の世界を心待ちにしています。場所が変わり、新たな出会いがあります。それは、川俣町の幼児教育の形が『もっと良くなる、笑顔いっぱいになる、仲間が増える』という証なのです。明るく子どもたちを見守っていきましょう。子どもは前に進むのみ、何があってもきつと大丈夫です。大空のように無限大の可能性に向かってこれからも大きく羽ばたいてください」。

そして最後に菅野園長は、

**「長**い間、支えてくださった川俣町のみなさん、子どもたち、先生

方、そして家族へありがとう。雨にも、風にも、大震災にも耐えた川俣幼稚園ありがとう。今年で5460人の子どもたちが川俣幼稚園を巣立ちました」——そう話を終えました。